

第2期津野町観光振興計画（案）に対するご意見内容と回答について

実施期間：令和5年3月6日（月）～令和5年3月17日（金）

受付人数（ご意見の数）：1名（4件）

	ご意見の内容	回答
1	<p>P11③ベンチマーク市町村との連携 久万高原町からの入込強化</p> <p>四国カルストを意識しての項目かと思いますが、まずは仁淀ブルー（仁淀川町周辺）からの観光客が多く四国カルストを訪れており、こちらを強化してはいかがでしょうか。中津溪谷からせいらんまで約1時間の移動時間ですが、現在周遊コースとしてはあまり周知されていません。仁淀ブルーと四国カルストのストロングワードをつなげての入込強化のほうが、効果が早く期待でき、仁淀ブルーを見て高知市内に戻り宿泊する観光客を津野町で宿泊させるとより町内の経済効果が見込めます。</p>	<p>カルストなどの地理的条件や経済規模などが類似している市町を比較するためにベンチマーク（指標・基準）として選定したもので、出発地や宿泊者の特徴（宿泊日数・参加形態・性別）、季節による入込の変動などを統計的に比較しています。</p> <p>指標とは別に戦略としては仁淀ブルーからの誘客ということも含め、同一地域や県内からの集客は重要と位置付けています。</p> <p>加えて、宿泊者の居住地比較で津野町では県外では近畿地方からの宿泊が多いが、久万高原町では中国地方からの宿泊者が多いため、相互補完が効果的であると考えております。</p>
2	<p>P14 基本計画（基本政策）の柱の中に追加願います。</p> <p>●「四国カルストの自然を守り、観光発展につなげる」</p> <p>昨年秋に発覚した県自然共生課による道路整備事業で、四国カルストの絶滅危惧植物の自生地が埋め立てられ、舗装道路となり、外地からの敷石が敷き詰められる事件が発生しました。高原の景色も大きく変貌しています。津野町としては、四国カルストの自然を守ることは観光発展に欠かすことができないだけでなく、万一これ以上の自然環境破壊が起こるなら、日本だけでなく、世界の観光資源にとって大きな損失です。津野町の観光振興は豊かな自然を守ることを基礎に成り立っていることを計画の中でより、はっきりと記載していただきたく願います。</p> <p>（趣旨要約）</p>	<p>P14 （2）基本方針・基本施策</p> <p>1. 地域資源を生かした観光魅力づくりの推進</p> <p>（1）自然を活かした魅力づくり 及び</p> <p>P15 4. 「世界にひとツノまち」づくりを支える観光基盤の整備</p> <p>（1）自然豊かな美しい環境や景観を守る</p> <p>の項目に基づいて取り組みをすすめてまいります。</p> <p>併せて、四国カルストだけではなく、町全体の観光について、持続可能な観光地経営の視点をもった観光振興をすすめてまいります。</p>

3	<p><b>●ガイド団体の支援・強化</b></p> <p>ガイド団体では会員の高齢化が進んでいます。津野町以外でも津野ファンを増やし、ガイド育成を進めていただきたいと思います。ガイド料をきちんと設定し、1回ガイドをするといくらの収入になり、お客様にも津野町を理解してもらえる仕組みづくり。ガイド予約のオンライン化も早期に行っていただきたいと思います。</p>	<p>P14 (2)基本方針・基本施策</p> <p>①津野町の観光振興方針</p> <p>2.「世界にひとつノまち」の魅力を伝える人材育成</p> <p>(3)観光客に魅力を伝える人材を育成する</p> <p>の項目に基づいて取り組みを進めてまいります。</p> <p>現在ガイドの利用申込については、パンフレットやホームページなどで周知しているところです。</p> <p>今後、利便向上のために、WEBでの申し込みなども検討してまいりますと考えていますが、ガイド人材の育成や組織体制の充実など受入環境の整備が必要となっています。</p>
4	<p><b>●高齢者・ハンディキャップのある人も観光を楽しむ</b></p> <p>高齢者・ハンディキャップのあるお客様も楽しめるように、バリアフリーや多目的トイレの整備などハード面の強化、と何か手伝いが必要な場合の現場の人のソフト面でのお手伝いができるような仕組みがあるとよいと思います。</p>	<p>P15 (2)基本方針・基本施策</p> <p>①津野町の観光振興方針</p> <p>4.「世界にひとつノまち」づくりを支える観光基盤の整備</p> <p>(2)安心・安全に配慮した観光施設を整備する</p> <p>の項目に基づいて取り組みを進めてまいります。</p>